

家具匠の里岐阜県高山市

KKEITOの家具は、岐阜県の家具匠の里「飛騨高山」の工房で一品一品丁寧に作られます。古くは奈良時代より高い木工技術を誇る「飛騨の匠」の里として栄えた飛騨高山。匠たちの高い技術は現代へと受け継がれ、伝統技術として守られています。そんな木工職人たちの信頼と技術が、KKEITOシリーズを支えています。木のぬくもりを大切にしながら丁寧に作られたKKEITOシリーズは、使う喜びと、使うほどに増す愛情を与えてくれます。大人から子供へ、そして未来へ継承し続けられる家具として、家具と一緒に時を経て持続可能な豊かな生活を送っていただきたい。確かな品質と構造のKKEITOの家具は、世代を越えて、安心して長くお使いいただけます。



KKEITOの塗装

柿渋オイル

柿渋は平安時代末期から使用されており、江戸時代に入ってから木材保護や染料、投網の防腐剤など、生活の中で幅広い用途に用いられてきました。渋柿の液汁を発酵熟成させてつくられる柿渋は、ワインの10倍のタンニン(渋み)を含み防腐・防水・防虫・抗菌作用など、多くの優れた効果を持ちます。日本の伝統文化とも言える「柿渋」のオイルで仕上げたKKEITOの家具は、暮らしのなかに自然の温もりと数々の効果をもたらします。

抗菌・抗ウイルス作用

KKEITOシリーズは、日本の伝統文化とも言える「柿渋」のオイル塗装仕上げを施しています。柿渋の主成分「柿タンニン」には、病原菌の増殖を抑える「抗菌・抗ウイルス作用」があり、インフルエンザやノロウイルス、鳥インフルエンザ等にも効果があることが近年の研究からわかりました。家具に付着した細菌やウイルスの増殖を抑えることで病原菌への感染リスクを軽減します。

天然木/オイル仕上げの家具について

【天然木について】

本シリーズは主に天然の無垢材を使用しています。木から醸し出されるほっとするような温かみ、長い年月を経て生み出された自然の質感を実際に感じていただきたいと思っています。天然木には同じ色、濃淡のものはございません。まっすぐな木目もあれば湾曲した木目もあり、小さな節もあります。人工的に作られた木目シートやプリント等と違う、世界にただひとつの自然から生まれた「個性」として親しんでいただければ幸いです。

【無垢材の割れ、反り、ゆがみについて】

加工、製材をされた無垢材でも木は生きています。その為、空気中の温度、湿度等の変化により小さな割れ、反り、ゆがみが生じる場合がございますが、その際はしばらく様子をみてください。四季がはっきりしている日本では、温度、湿度の変化により割れ、反り、ゆがみが戻ることもございます。常に木は伸縮しており、朝と晩でも伸びたり縮んだりしています。本シリーズの木材は専門業者により選定され、加工前に木材内に含む水分を調整された良質な木材を使用しています。ただ、寒暖差の激しい夏冬のエアコン使用時における住宅内は、木にとっては非常に厳しい環境となっております。また直射日光やエアコンなどで乾燥状態が進みすぎると負荷がかかり、大きな割れとなる場合がありますので、エアコンや冷暖房機器の風の吹き出し口に常に当たる状態はお避け下さい。無垢材の割れ、反り、ゆがみをできる限り防ぎ策として、家具用オイルワックス等でできるだけ頻繁に木を保湿してください。

【オイル仕上げの家具について】

オイル仕上げの家具は樹脂コーティングされたウレタン塗装と違い、木の自然の手触り、ぬくもりを感じていただける塗装方法です。コーティングがない分、水や汚れに弱く、例えば濡れたコップを直接置いて使用すると、コップの輪ジミができることがあります。しかし、傷や経年劣化の補修が高額かつ難しいウレタン塗装の家具に比べ、ご家庭で簡単に補修とお手入れができ、永年ご使用いただけるのがオイル仕上げの家具の特徴です。汚れが付着しやすい分、メンテナンスも容易で、ご自身でリペアしていただける点が魅力です。

【オイル仕上げ家具のご使用の注意点】

- ・オイル仕上げの家具は水や油汚れ等には弱いので、汚れを拭き取る際は乾いた布で拭き取ってください。
- ・濡れたコップ等を置く場合は、コースター、ランチョンマット等を使用し、直接水がつかないようにしてください。
- ・オイルワックスのメンテナンスは、必要に応じて数ヶ月に1度の頻度で行ってください。

【柿渋オイルのにおいについて】

柿渋オイルは100%天然植物性素材で製造されたオイルです。国産の渋柿より抽出されたタンニンを使用する為、少し独特なにおいがありますが、しばらくご使用いただくうちににおいは軽減されます。